



<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

大図研京都ワンデイセミナーのご案内

“羊さん” こと水知せりさん（漫画家）が語る
「“学術情報の伝達” と “利用者の活用術”」

日 時：2018年5月20日（日）13:20-16:45（13:05開場）

会 場：梅小路公園 緑の館 2F 和室

<http://www.kyoto-ga.jp/umekouji/midorinoyakata/>

講 師：水知せり 氏（漫画家）

主 催：大学図書館問題研究会京都地域グループ

参加費：会員無料 非会員 500円

申込方法：大図研京都ワンデイセミナー参加申込フォーム

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf4g1h4kluuYCSw1bnbYCiuYYekQhn6oyt1-MYFwrJL7VV_gg/viewform
からお申し込みください。

申込締切：2018年5月13日（日）17:00

その他：終了後、懇親会を予定しています（実費負担）

[目 次]

大図研京都ワンデイセミナーのご案内	…	1
グループ委員 挨拶	…	2
祝！大図研 全国大会@京都		
プレ企画 「暑い京都をビールで乾杯」に参加して	安東 正玄	… 6
全国大会のご案内	…	8
会費納入のお願い	…	8

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：kyoto@daitoken.com（大学図書館問題研究会京都地域グループ）

URL：<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

グループ委員 挨拶

2017/2018年度 グループ委員を務めさせていただきます11名よりご挨拶させていただきます。今年度もより一層京都地域グループを盛り上げていきます。これからも大図研京都地域グループをどうぞよろしく願いいたします。

● 研究企画 / 支部報印刷と発送 (安東 正玄)

大学図書館の部署から異動して、2年目に突入しました。仕事とは不思議なもので、やる業務や役割が変わると見えるもの、感じるが変わります。私も業務(仕事)をしているだけでは、本当に「図書館」に対するアンテナが反応しない状況になっているだろうと感じています。それだけ、他部署では「図書館」との関わりが無いといえます。はたしてそれでいいのでしょうか？

大学における図書館の役割や位置づけが、教員の目線、職員の目線、学生の目線でかなり違うことを感じています。先生方の中では「図書館にお世話になった」「重要な機関」としての認識はまだありますが、大学職員の中でその認識を持っている人はほとんどいないと言ってもいいでしょう。

一部の公共図書館では、地方自治体の中での図書館の役割・位置づけを改善するためにも積極的に他部署へ働きをかけている事例も出ています。大学図書館でもその必要性を説いている人も実際にいますが、皆さんの大学ではどうですか？

と、偉そうなことを言ったところで、私も皆さんと同じです(笑)。ただ、「思い」を持ち続けて、チャンスは狙っています。チャンス(タイミング)はいつ来るか分かりません。

その準備を一緒にしませんか？

あんど う せいげん (立命館大学)

● 支部報印刷と発送 / 組織・財務 (内田 栞)

今年度、地域グループ委員に加えていただき、全国委員・発送・組織財務を担当させていただきましたことになりました。

グループ委員となってやっと、大図研の組織や運営について学びはじめたところで、心許ない全国委員かもしれませんが、全国と京都地域グループの橋渡しができるよう、努力していきたいと思っております。

何度か全国委員会に参加して感じたのは、大図研は全国的な組織でありながら、地域グループの活動に非常に重きが置かれているということです。各地域グループの報告を伺うと、それぞれの地域グループで活動に特徴があり、面白いなと感じております。

京都地域グループの活動がますます円滑に進み活発になりますよう、発送・組織財務担当としても頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。

うちだ しおり (京都大学附属図書館)

● 副グループ代表 / 支部報編集 / Twitter / 「大学の図書館」編集 (坂本 拓)

今年度は、支部報編集、Twitter、「大学の図書館」編集を担当いたします。また3年間務めさせていただいたグループ代表を昨年度にて退任しました。これからは野間口新代表のリーダーシップの下、より活発な京都地域グループにしていきたいと思えます。・・・と言っている先から、私の主担当である、京都支部報の刊行が今年度は大幅に遅延しており、大変申し訳ありません。安定した定期刊行を目指して努力したいと思います。支部報は、会員相互の交流の場でもありますので、京都地域グループ会員の皆様が何か書きたい、発表したい、という時に是非ご活用ください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さかもと たく (京都大学附属図書館)

● 組織・財務 / 「大学の図書館」編集 (寺升 夕希)

今年度から組織財務の担当になりました滋賀医科大学附属図書館の寺升です。京都支部時代から京都地域グループ時代にかけて通算で7年目に入り、初めて管理部門を担当することになりました。

組織財務は、大学図書館問題研究会事務局との情報交換や、会費から配分される予算の適正な管理・支出が主な業務となります。数字にはもっぱら弱いため、会計を預かることに不安いっぱいですが、会員の皆さんが疑念を抱かないよう身を引き締めてクリーンな会計処理を目指します。

1年間よろしくお願いいたします。

てらます ゆうき (滋賀医科大学附属図書館)

● 副グループ代表 / 支部報編集 / 組織・財務 (長坂 和茂)

早いもので、気が付いたらこの4月で就職して丸10年になりました。ということは、6月には大図研に参加してから丸10年になります。ということは、赤壁の戦い1800周年を記念してつくられたあの「レッドクリフ」からも、丸10年になるんですね。時がたつのは早いものです。

いや、「時がたつのは早いもの」などとのんきなことは言っていられない状況で、10年もあれば世界は大きく変わります。208年から10年間の間にも、中国大陸は200年続いた後漢王朝の終焉に向けて大きく動き出していました。具体的に何が起きたか書いていたら文字数を大幅にオーバーしたので、ここでは割愛します。「この余白はそれを書くには狭すぎる」というアレです。

ましてや、21世紀の現代の2008年から2018年ともなれば、図書館の世界も大きく変わっています。先日は、学術基盤実態調査によって、2016年度の紙媒体の購入価格を電子リソースの購入価格が上回ったことが判明した、というニュースが流れました。(ただし、これは2015年秋ごろのレートが円安に振れていたことがある程度原因だったと思われるので、Brexitの影響などで大きく円高に振れた2016年秋ごろのレートをもとにしている、2017年度は別の結果が出るようにも思います)。紙から電子への流れは、すでに大きく移行している英文ジャーナルだけではなく、日本語の図書の世界にも、進み始めています。日本語の和書も電子ブックでの提供が増えておりますので、今後は今まであまり電子ジャーナルを使っていなかった大学でも、対応が必要になるのではないかと思います。

これまでの10年を電子リソースに限って振り返るだけでもこれだけ大きな違いがあ

りました。だとしたら、これからの10年はさらに大きな変化が起こると思われま
す。10年後2028年という未来が、楽しい未来であるといいなと願いつつ、楽しい未来にし
ていかないと決意しつつ、地域グループ委員就任のあいさつとさせていただきます。

ながさか かずしげ (京都大学工学研究科桂建築系図書室)

● グループ代表 / メールマガジン (野間口 真裕)

今年度より坂本前グループ代表を引き継ぎ、グループ代表となることとなりました。
京都支部から京都地域グループに移行し、これまでの間に全国大会を開催したり、各種
イベントを開催したり、支部報やホームページ、メルマガなどたくさんの活動があり、
活発な活動が行われました。

今年度は原点に戻り、会員相互の交流を深めていくとともに、新たな仲間を増やして
いきたいと願っています。

皆様はどのようなことに困っていますか?どのような交流を行いたいですか?
新たな会場、新たなテーマ、続けていくもの、様々ご意見お待ちしております。

のまぐち まさひろ (京都大学北部構内事務部)

● 研究企画 (原 健治)

2017年5月から、16年在籍した図書館を離れて、文学部研究室事務室兼歴史資料館事
務室に異動となりました。学術資料系業務も一部担当していますが、多くは慣れない研
究系の業務ばかりで周囲の皆さんにご迷惑をおかけしているばかりです。

ただ研究者がどのようにして研究活動をされているかという一端を垣間見ることがで
きるのは貴重な体験でもあります。ゆくゆくは互いの業務間をフィードバックして連携
できるようにできればと思っていますが、まだそのレベルには達していません。この大
図研の活動がその一助になれば皆様にとって、そして私にとって幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

はら けんじ (同志社大学文学部事務室、歴史資料館事務室)

● 広報・デザイン / 「大学の図書館」編集 (山形 知美)

今年度も引き続き、広報・デザインを担当させていただきます。ワンデイセミナーから
柔軟な懇親企画まで、とにかく活動が活発なのが京都地域グループの魅力です。そ
の魅力を後押しできるように、多くの方々の目に留まり好奇心をかきたてるような広報活
動ができればと考えています。今年の裏目標は、自分なりの色を見つけると言いますか、
これはあの人が作ったな、とわかるような広報物が作れるようになることです。1年間、
どうぞよろしくお願いいたします。

やまがた ともみ (北海道大学附属図書館)

● メールマガジン / Web サイト・ML (山上 朋宏)

今年度も引き続きグループ委員を務めさせていただきます。昨年度と同様、メールマガジンと Web サイト・ML を担当いたします。

ところで皆様は京都地域グループのメーリングリスト「ML ゆりかもめ」はご登録されているでしょうか。メールマガジンは、地域グループからのお知らせや毎月初めの図書館関係のイベント案内をこの「ML ゆりかもめ」を通じて配信しております。また、会員の皆様から「ML ゆりかもめ」に投稿することも可能です。まだ登録されていない方は、この機会にぜひご登録ください。登録方法は京都地域グループの HP に記載されています。

Web サイトもメールマガジン同様、会員の皆様に迅速な情報提供ができるように努めてまいります。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

やまがみ ともひろ (京都大学経済学研究科・経済学部図書室)

● Web サイト・ML/グループ報印刷・発送 (山下 ユミ)

今年度は Web サイト・ML 担当と、グループ報印刷・発送を担当しています。

グループ委員を務めると、幅広い経験ができて仕事にも役立ちます。それから何より、仲間と一緒に京都地域グループの活動をするのが楽しくて、委員を続けています。今年もよろしくお願いいたします。

やました ゆみ (京都府立医科大学附属図書館)

● 支部報編集 / 「大学の図書館」編集 (鷺津 彩乃)

地域グループ委員も 2 年目になり、今年も引き続き支部報編集を担当させていただきます。

近頃、大図研や京都地域グループで得た情報やご縁を実際の業務やサービスに活かせる機会が増えてきて、大図研の良さ・意義をいっそう感じます。去年・今年はプライベートでライフスタイルや時間の使い方が大きく変わるようなイベントがてんこもりでなかなか思うように活動できていないのですが、少しでも京都地域グループに貢献できればと思っております。これからの 1 年間もどうぞよろしくお願いいたします。

わしづ あやの (名古屋大学附属図書館)

祝！大図研 全国大会@京都プレ企画

「暑い京都をビールで乾杯」に参加して

安東 正玄

2017年9月9日（土）～11日（月）同志社大学 新町キャンパス 臨光館で開催される大学図書館問題研究会全国大会が成功することを祈願するとともに、暑い京都で全国大会の準備を精力的に取り組むための前置きで、サントリービール工場京都（正式名：〈天然水のビール工場〉京都ブルワリー）の、「ザ・プレミアム・モルツ講座」に2017年7月29日（土曜日）参加してきました。



〈天然水のビール工場〉京都ブルワリー外観

お茶を飲みながら落ち着いていると、セミナーがはじまりました。

1989年に1人の醸造家の夢でスタートしたのが「ザ・プレミアム・モルツ」（以下、プレモル）だそうです。そして毎年味が変わる原料の穀物に対して、味が変わらないように毎年試行錯誤し安定した商品を届けるとともに、更に味わいや香りを高める取り組みを進めているそうです。

そして、今回の新しいプレモル（下面発酵酵母のラガービール）と香り華やかな上面発酵酵母のエールビルのプレモル〈香り〉エールの飲み比べです。

味わいや香りを五感でチェックするのですが、明確なルールはない（数値化しにくい）そうで、あくまで人間の感覚が大切だそうです（教育もそうですね）。

グラスによっても香りの感じ方が大きく変わります（これも教育環境と同じですね）。

セミナーでは、映像と現物（ビールや原材料の麦芽とホップ）を楽しませながら、講師の方はマイクではなくインカムで自由になった両手を使いながら、動きをつけ、解説してくれました（これって、プレゼンの仕方としても参考になります）。

まずは、テイastingグラスで1杯ずつ飲んで、これで終わりかと思いきや、工場

まず驚いたのは、セミナー開始10分まえにセミナー会場に案内されました。「おいおい、まだ開始時間ではないのになんだらう」と思っていたら、グループごとに椅子とテーブルがあり、冷たいお茶が用意されていました。この瞬間「お・も・て・な・し」という言葉が浮かんだのは私だけではないと思います。



左が、普通のザ・プレミアム・モルツ
右が「香りエール」

見学をし、その後に自由に飲み比べができる
ということで、テンションアップです！

工場内では、セミナーで解説のあったビール
製造工程を自分の目で確認しながら、作り
手のこだわりを感じることができました（図
書館でも「こだわり」を利用者に伝えること
ができれば楽しいかもしれないと感じつ
つ。。）。

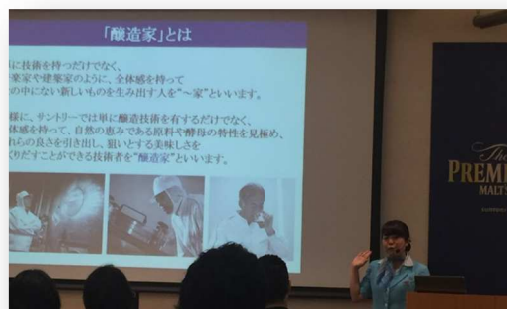
工場見学も終わり、あとは、学んだ知識を
ベースに2種類のビールの飲み比べ（本番）
です。各自3杯まで OK というのですが、
テイasting分も含めると結構な量になりました。

知識は生活を豊かにするとともに、味覚まで変えて
いくんだなぁと強く感じました。

図書館の利用の仕方についても、もっと知識を共有
することで、豊かな情報社会になれるのかもしれない
と感じた一日でした。

参加人数は5人と非常に少なかったですが、それで
も楽しい時間が過ごせました。

あんどう せいげん（立命館大学）



速報！！

大学図書館問題研究会第49回全国大会（九州）

のご案内

第49回全国大会は、九州にて開催いたします。

日程、会場は以下のとおりです。申し込み開始まで、今しばらくお待ちください。

日程：2018年9月8日（土）～10日（月）

会場：西南学院大学図書館 及び 百年館（松緑館）

〒814-8511 福岡市早良区西新 6-2-92

福岡市営地下鉄「西新」駅から徒歩5分

主催：大学図書館問題研究会

お問合せ：taikai★daitoken.com（★を@に）

◇ 会費納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017年度(2016年7月～2017年6月)より、大学図書館問題研究会会費は、すべての会員の皆さまに、直接大学図書館問題研究会事務局へご納入いただくこととなりました。

また、地域グループ(従来の支部)に所蔵される方は、地域グループ費と合わせてご納入いただくことになっています。

会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)です。

【振込先】

郵便局 00190-2-79769 大学図書館問題研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019

■預金種目 当座 ■店名 〇一九(ゼロイチキョウ店) ■口座番号 0079769

ご不明な点は大学図書館問題研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)まで。

※ 学生会員制度(試行)として、学生の方には特典をお渡ししております。

詳細は京都地域グループ Web サイトの「学生会員制度の試行について」をご覧ください。